

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①カリキュラムマネジメントの視点から魅力ある教育課程を編成し、運用・改善する。 ②ICT を利活用しながら、授業改善に組織的に取り組み、基礎学力の定着を図り、思考・判断・表現する力を伸長することで、主体的に活動できる人材を育成する。	①編成した教育課程を運用し、他グループや各教科と連携し一人ひとりの生徒に寄り添えるよう改善に努める。 ②ICT を利活用しながら、個別最適な学びや協同的な学びの一体的な充実をはかる。	①各年次での課題について調査・分析し、次年度へ向けて改善に努める。 ②ICT の活用を進めるとともに、個別最適な学びや協同的な学びの一体的な充実の実現に向けた授業改善を行う。	①明らかになった課題に対し、具体的な方向性を打ち出すことができたか。 ②授業改善の実施により、授業評価の「授業の中で「身に付いた」「できるようになった」と感じることができた。」という項目が向上したか。					
2	生徒指導・支援	①基本的な生活習慣の確立を図るとともに、社会の一員として行動するための規範意識を高める。 ②生徒1人ひとり個に応じた支援の充実を図る。 ③自己理解・他者理解を深め、自他を尊重できる人間関係を築き、コミュニケーション能力を育む。	①日常的な指導を通じて生徒がルールを遵守し、規則正しい生活習慣を身につけさせる。 ②生徒が相談しやすい教育相談体制を整える ③自主自律の精神のもと生徒主体の行事運営を行う中、人間関係を築くとともに、コミュニケーション能力を育む。	①頭髪服装指導や遅刻指導を計画的に行うとともに、職員が共通理解のもと、統一した指導を意識し行う。 ②生徒情報の共有を徹底し、SCやSSW、外部機関と連携した教育相談を行い、組織的な支援体制の構築を図る。 ③生徒主体の行事の企画・運営ができるよう、適切な助言指導を行う。	①指導対象生徒数が減少したか。また全職員が共通理解をもち、取り組むことができたか。 ②組織的な情報共有を行い、問題を抱える生徒に必要な支援ができたか。 ③学校行事・生徒会・ボランティア活動などの生徒活動において6割以上の生徒が主体的、積極的に取り組み達成感・満足感を実感できたか。					
3	進路指導・支援	①10年後 (AGE28) の自分をイメージしたキャリア形成ができるように、3年間を通したキャリア教育実践計画に基づき、キャリアデザイン能力を身につけさせる。	①進学希望の上位層を掘り起こしモチベーションを高め、学習への取り組みを促す。また、自己の能力を知り、探究する力、表現する力を養う。	①上級学校の入試担当者等によるガイダンスや卒業生等からのアドバイスを用い動機付けをする。 ①10年後を考えるための手立てを提示し積極的にキャリアをイメージさせる。	①希望通りの進路に進むことができたか。また、目標となる進路を見つけることができたか。 ①キャリアデザインに必要な能力を身につけ、10年後の自分をイメージできたか。					
4	地域等との協働	①学校と地域の連携協働の「現状と課題」を把握し、改善を意識した学校運営協議会を運営する。 ②学校と地域の連携協働の促進により地域とともにある開かれた学校づくりを進め、地域の中で生徒の主体的な取組を支援する。	①学校運営協議会の充実を図り、学校運営協議会をとおして地域と協働連携を図り、地域の力を学校運営に生かす。 ②地域連携部会等の連携をとおして、学校と地域がともに生徒を育てる取組みを推進する。	①学校運営協議会から受けた有用な意見を学校運営に生かせる体制づくりに努める。 ②地域と連携を深め、ボランティア活動のさらなる充実を図る。生徒のニーズを把握して地域との連携を強化する。	①各部署と連携し、学校運営に生かす具体的方策について集約し、実現できたか。 ②地域との連携協働により、生徒の主体的な取組みを推進・検討し、充実した地域交流ができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
5	学校管理 学校運営	<p>①ICT を利活用した様々な活動を支援するための教育環境を整備する。また、ICT 利活用により業務の効率化を図り、働き方改革を実践する。</p> <p>②地域への情報発信を迅速に行い、社会に開かれた学校づくりを推進する。</p>	<p>①ICT を利活用した、多面的・多角的な学習様式を支援できる体制を整える。</p> <p>②本校の取り組みを適切かつ迅速に発信し、本校の魅力を広く伝える。</p>	<p>①3 学年すべての生徒に学習用情報端末がそろったことを受け、Wi-Fi を中心とする環境整備をさらに進める。</p> <p>②生徒主体の学校説明会の内容を充実させ、中学生や保護者によりわかりやすい説明を行う。各部署にホームページ担当を置き、内容を明確にする。</p>	<p>①校内すべての教室・準備室等で接続トラブル等なく ICT を利活用した授業を展開できたか。</p> <p>②学校説明会のアンケートで 90%以上の肯定的回答が得られたか。迅速に情報発信することができたか。</p> <p>③ホームページを迅速に更新し、充実することができたか。また、有効な情報発信方法を見つけることができたか。</p>					